■「みんなで描こう泉佐野の未来」応募作文

●新池中学校　３年　小林　祐大

僕の考える理想の泉佐野

　泉佐野が平等でさわやかなまちになってほしい、というのが僕の考える理想のかたちです。

　今の学校生活の中でも、弱い者イジメ、仲間はずれ、無視などの上下関係があります。僕も何度か嫌な思いをしたことがあります。だから、誰かがイジメられているのを見かけても、僕一人の力ではどうすることもできません。もちろん、先生をはじめとする大人の人達の助けも必要だけど、僕達自身が力をつけて、みんなが平等な立場で意見を言いあえる関係をつくり、みんなで一緒に楽しく遊べる学校にしていきたいです。そして、そんな平等な関係が泉佐野市全体に広がれば、未来の泉佐野はとてもすばらしいまちになると思います。

　このうえで、僕が望むのはさわやかさです。僕が考えるさわやかさとは、ゴミがなく、自然にあふれ、外で遊べる環境が整っていることです。

　道を歩いていると、たくさんのゴミが目に付きます。ポイ捨てされたタバコの吸い殻、空き缶、おかしの袋…。僕は、ゴミをなくすために、町中の道路わきに花を植えて、ポイ捨てをしにくい環境をつくるのがいいと思います。そして、花の世話やゴミ拾いを自分達の手ですることで、僕達の意識も変わってくると思います。

　外で遊べる環境としては、いろんな人が気軽に使えるスポーツ広場がほしいです。末広グラウンドは、サッカーや野球の大会で使われることが多いので、いつでも遊びで使える広場があればいいと思います。そこで、みんなとおもいっきり笑って、汗を流したいです。

　みんなが平等でさわやかなまち。それが、僕の考える理想の泉佐野。